

まほろば Vol. 25 くろしお

「まほろば」とは、素晴らしい場所・住みやすい場所という意味。
まほろばな黒潮町で頑張る人や団体にスポットを当て、
紹介するコーナーです(隔月掲載予定)。



NPO砂浜美術館 公園管理事業部
まつおか 松岡 勝さん

今年、開設40年を迎えた
土佐西南大規模公園。これ
を記念して、現在さまざま
な事業が行われています。
そんな土佐西南大規模
公園の体育館やサッカー場、
わんぱく広場など、皆さん
が使う公園や施設の管理
を行っている、NPO砂浜美
術館公園管理事業部。そこ
で長年現場作業をしている
松岡さんに話を聞きました。

黒潮町で公園管理に
関わることになった
きっかけは？

これまでの活動内容
を教えてください

私は、以前は早咲地
区で「イエローフロツク」
という、居酒屋のような
バーのような店を開い
ていたのですが平成18
年ごろに業態を変える
こととなり、半年ほど愛
知県で仕事をしていた
知県で仕事をしていた
時に、当時の
砂浜美術館の職員の方
から「公園の指定管理
者として指定されたら
帰って来ないか、公園管
理をしてくれないか」と
声をかけてもらった
ことがきっかけで、平成
19年に砂浜美術館に入
りました。

現場で公園管理に動
くシルバー人材センタ
ーの方や、嘱託職員な
どのまとめ役として、芝
生や施設の管理などを
行っています。



手入れ後のパークゴルフ場



植栽管理を行う松岡さん

平成21年、サッカー場
に芝生を植える取組を
初めて行い、芝生が完成
した後、平成23年から
スポーツ合宿の誘致が
始まりました。実は当初
スポーツ合宿の誘致を
するという話は出てい
なかったんです。しかし、
こうして現在も続く町
のスポーツツーリズム
に繋がったので、今思う
と「やって良かった」と
思います。

今後の課題は？

私はあと2年で定年
退職となるので、後継
者を育てなくてはいい
ないなど。現在は熟練
の職員が多いですが、そ
の職員も退職した後の
人材の確保も課題の一
つです。技術面、精神面
の両方を、しっかり引き
継いできれいな公園を
残していきたいと思い
ます。



黒潮町 30年後も暮らしたくなるまちの未来

コンセプト デジタルを通して楽しくなるまち、イノベーションの発信地、生涯輝けるまち
目指す姿 誰一人取り残さないデジタルで暮らしやすく活気のあるまち

移住

①まちへのマッピング
仕事や趣味志向から最適な移
住先をマッチング。近隣市民の顔
が分かるので安心して移住する
ことが出来る。町の魅力が伝わるこ
とで移住が促進。地域間の交流も
生まれ関係人口が増加する。

買い物

②家から簡単ショップ巡り
メタバース空間上の「黒潮町スト
リート」にある店舗で買い物でき
る。購入者の好みやニーズに合わ
せた品揃えをAIが提案。注文し
た商品は即日EVカードローンで
配送される。

観光

③まちの楽しみ方を見える化
町民や観光客みんなの「私の美
しみ方・オススメ」を見える化し、
四季や変化に対応したローカ
ルの情報や特産品と共にマップに反
映される。

津波・災害学習

外国人観光客が津波避難タワー
で自動翻訳VRゴーグルをつけ、
津波や災害について気軽に学習
することが出来る。町民も利用する
ことができ防災に役立てる。

仕事

④地域クラウドファンディング
黒潮町の新しい事業をみんなで
応援する。お金があまりなくてプ
ラシティブにつながらず。



自然環境

⑤学びのフィールドは黒潮町
山、海、商業、漁業の新しいチャ
レンジや取り組みに学びのフィールド
として場所と経験を提供。学ぶ
がために世界から人が来る。

農業・漁業

⑥フードロスを減らす
需要予測により、無駄な食品ロ
スを削減し、作業効率もUP。そ
れでも余ってしまったものを、町民
や移住者が見て買っていくことで、
地域の人間同士のつながりも創出。

ヘルスケア

⑦健康コワーキング
みんなで体を動かして健康にな
る。健康になる。高齢者や町民
が集まる場にもなり、楽しく仲間
づくりができる。

黒潮町ヘルシーツーリズム

黒潮町に滞在し、景色、食べ物、
アクティビティ等の体験で健康に。
町内のあらゆる場所で健康状態
をモニタリングし、個人にフィードバック。
黒潮町で健康を整った体と心が
手に入る。

「黒潮町ビジョンマップ」が完成しました
これはまちの未来をイラストにすることで、住民みんなで共通認
識化することを目的としています。マップの作成には多くの住民の
皆さんからアイデアをいただき「30年後も暮らしたくなるまちの未
来」をテーマにデジタル技術を活用したまちの未来を描いています。
お問い合わせ 本庁企画調整室 デジタル推進係 ☎ 43-2177

